

令和7年度第1回高次脳機能障害者相談支援研修会概要報告

1 目的

区市町村等地域関係機関及び関係医療機関等において、高次脳機能障害者の相談支援業務に携わる職員に対し、高次脳機能障害及び支援方法について、講演を通じて情報提供をすることにより、相談支援の実務の向上を図ることを目的とする。

2 方法

WEB によるオンライン開催とし、その講義と質疑応答を録画したものを後日視聴として配信することにより実施した。

3 日時

オンライン開催：令和7年7月30日（水曜日）

後日視聴（録画配信）：令和7年8月19日（火曜日）午前9時から9月9日（火曜日）正午まで

4 申込者

（1）申込者数：オンライン 140 名 後日視聴 422 名

・オンライン申込者内訳（障害分野 55%、高齢者（介護）分野 33%、医療分野 12%、）

・後日視聴申込み者内訳（障害分野 34%、医療分野 31%、高齢者（介護）分野 31%、教育 1%、その他 3%）

※複数名で視聴する場合も含むため、申し込み代表者での割合を算出

5 内容

テーマ：高次脳機能障害の基礎知識（講義 70 分と質疑応答 30 分）

講師：一般社団法人 TMG（戸田中央メディカルケアグループ）本部リハビリテーション医療 特別顧問 渡邊修氏

【質疑応答内容（抜粋）】

Q：金銭管理がうまくできず、ロマンス詐欺とか高額当選詐欺に振り込んでしまう方がいる

A：親や後見人に預けるとかできるのか？1週間にいくらかと本人と決めて制限できるか？

まずは、本人の話をじっくり聞いて、支援者と本人との関係づくりから。

Q：精神障害を併発し、長らくリハビリ等行っていない方も改善の見込みはあるのか？

A：いつの時期でもリハビリをすると効果はあると思っている。良い環境等を作れば。

Q：御本人の障害受容の考え方について

A：障害を受容できる方はいないと思う。死ぬまで受け入れられないと思う。この先どう楽しく、過ごしていくかが大事では。

（2）アンケート：アンケート回収：オンラインと後日視聴計 260 人

<講演について>

【講演について】大いに参考になった 194 人（74%）、参考になった 65 人（25%）、普通 1 人（1%）

【質疑応答の時間について】ちょうどよい 220 人（84%）、短い 20 人（8%）、長い 18 人（7%）その他 2 人（1%）

<自由意見>

- ・あらためて高次脳機能障害を学べた良い機会になった
- ・絵や図を用いて、分かりやすい資料で理解が深まった
- ・長所を大切にする視点、支持的な声掛けについて、改めて参考になった
- ・質疑応答の内容も興味深く、様々なお話を聞くことが出来て貴重な時間となった
- ・質疑応答時に講師の経験によるアドバイスが直接聞けることで、とても参考になった